**大　会　宣　言（案）**

　山形県連合小学校長会は、子どもたちが心身共にたくましく人間性豊かに成長することを願い、小学校教育の充実・発展のため真摯に研究と実践を積み重ねてきた。また、本大会に向けて、令和３年度より大会主題を「自ら未来を拓き　ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に改め、その実現を目指し、研究と実践に組織をあげて取り組んできた。

これまで私たちは、東日本大震災とそれに伴う原子力発電事故からの復興の中で、「絆」の重要性と自他の「いのち」や「生き方」について深く考え、人々がつながることへの思いを共有してきた。

現在は、国際平和のゆらぎ、地球環境問題、ＤＸによる社会構造の変化、急速に進む少子高齢化に伴う人口減少、価値の多様化、地域コミュニティの弱体化など未知の課題にあふれ、未来は予測困難な状況である。さらに、豪雨災害からの復旧・復興、そして、巨大地震や激甚化する自然災害への備えも急務である。地球規模での温暖化は着実に進行しており、持続可能な社会への意識改革も始まっている。

このような中、我が国の教育施策においては、持続可能な社会の創り手の育成、日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上という２つのコンセプトが示された。その趣旨を踏まえ、子どもたちのウェルビーイングの向上を目指し、それを支える教職員のウェルビーイングを実現する活力あふれる学校経営に挑戦していく必要がある。

私たち校長は、高い教育理念と明確な経営理念のもと、「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う人づくり」を目指す山形らしい教育を推進し、自分事としてチャレンジする子どもを育てる学校経営を創出していきたい。

　ここに第７９回山形県連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

一、ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営を推進する。

一、「生きる力」を育む創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。

一、地域の自然や歴史・伝統・文化と道徳教育を中核にした心の教育を充実する。

一、安全で安心できる教育環境づくりと多様な学びの場の提供に努める。

一、校長自らの研鑽を深め、明確な構想のもとリーダーシップを発揮し学校を経営する。

一、教育の質を向上させるための「学校における働き甲斐と生き甲斐を感じる職場づくりと働き方改革」を一層推進する。

以上、宣言する。

令和７年６月１３日

**第７９回　山形県連合小学校長会研究協議会**